

会議結果

会議名	令和7年度第2回西尾市食育推進会議
日時	令和8年3月12日（木）午後1時30分～午後3時
場所	市役所22会議室
出席者	委員：上原正子、加藤裕美、榎本泰典、浅井朝美、小島周平、篠瀬明美、齋藤英二、石川裕高、太田知宏、岡田明美、新家弘美、華尾英幸、鈴木健太、田代幸子 関係課：深谷崇予、梶山美奈、山口美郷、駒宮茂、藤井明敏、村瀬広行、下野坊由香里、新實康子、青山千里 事務局：小笠原敬、鈴木誠、酒井洋子、林睦美
傍聴者	3人
議題	1 令和7年度事業実績について 2 正しく箸を持てる児童調査及び農林漁業体験学習の取組状況調査結果について 3 その他
結果等	<p>1 令和7年度事業実績について</p> <p>(1) 令和7年度食育推進関係事業実績について事務局より説明した。</p> <p>(2) 委員より質問・意見を受け、事業担当課および事務局が回答・説明した。</p> <p>委員からの意見 親子料理教室の参加人数が昨年度と比較して減少しているが、なぜか。</p> <p>担当課の回答 親子料理教室の募集組数は変更していないが、参加されるご家族の人数に差があったり、当日急遽体調不良などで欠席されたりすることもあり、参加された人数としては少し減少した結果となっている。どの講座にも定員を超える応募がある。</p> <p>委員からの意見 団体の活動として、料理教室などを開催しているが、会場の都合上募集人数が限られてしまうこともある。また、コロナ禍以前は学校から料理講座などの講師の依頼があったが、今は減ってしまったと感じる。</p> <p>担当課の回答 学校では生活科や総合学習の一環で、野菜を育てたり料理実習をしたりする。コロナ禍で一度外部講師への依頼が途絶えてしまうと、再度実施したい時にどこに依頼すべきか分からないこともあるため、こういった会議などを通じて横のつながりが広がっていくと良い。</p> <p>委員からの意見 幼児食育チャレンジ表を実施し、色塗りなど子どもも楽しんで取り組んでおり、保護者としても食育への意識が高まったと感じた。しかし、チャレンジ表が終了してしまうと意識しなくなってしまうとも思った。</p> <p>担当課の回答 幼児食育チャレンジ表を配布したが、家庭によって実施するしないに差があると感じている。園児だけでなく、保護者にも食への意識を促せるよう工夫していく必要がある。来年度から献立表に一言添える取組を進める予定。</p> <p>委員からの意見 ある小学校の先生から、授業で「にしお小麦」について勉強したいという連絡があり、協力させていただいた。授業は、子ども自身で「にしお小麦」の良さを調べ、どうPRすれば良さが伝わるかを考え、自ら周りにプレゼンするという内容だった。自分で調べ、その魅力を自分の言葉で周りに伝えることなどを通じて、相乗的に地域にも西尾市の特産物の魅力が広がっていくと良い。</p> <p>委員からの意見 生活習慣病や食生活の改善に向けた料理講座を開催しているが、参加者を集めることに苦労していた。多くの方に興味を持ってもらえるよう、市と協力して、「減塩」「血圧」といった言葉から、「腸活」「免疫力アップ」といった言葉に変えたところ、多くの募集をいただいた。沢山の市民の方に興味を持っていただき、こういった料理教室から市民の健康への意識が高まっていくと良い。</p> <p>2 正しく箸を持てる児童調査及び農林漁業体験学習の取組状況調査結果について 調査結果を事務局より説明した。</p>

3 その他

(1) 第5次西尾市食育推進計画策定スケジュールについて

令和8年度は第4次西尾市食育推進計画の最終年度であり、次期計画の策定年度となることから、策定スケジュールを共有した。

(2) 次回会議は、令和8年6月11日（木）を予定していることを報告した。

【総括】

西尾市食育推進計画は5か年計画として策定しており、来年度が計画の最終年度であるため、次期計画の策定年度となる。策定にあたっては、その時が必要なのかを考え、目的や目標をもつことが大切である。食はみんなが健康に暮らしていくために不可欠であり、寿命だけでなく健康寿命を延ばしていくことに繋がる。一人ひとりの健康づくりを支援していくことが食育の大きな目標であるが、その中で西尾市では何を中心に取り組んでいくのかを考えていく。日々変化する社会情勢の中で、西尾市における目標を掲げられるよう、取り組んでいきたい。